



第334号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



人とはなんだ



カット：
本多 紘子

秋風が身にしみる季節となりました。今年の秋は例年より雨が多く極端に暑かったり寒かったりする日が繰り返され、体調を狂わす高齢者も多かったのが驚きでしたが、皆様お元気ですか。

この「ともしび11月号」の原稿も10月21日（土）の夜に書いています。超大型台風21号の影響で、倉敷も今朝の9時頃から雨が止むことなく降り続き、今もお寺の屋根を濡らしています。23日の夜明け前には日本列島の東海・関東地区に上陸して大雨や大風をもたらしながら通り過ぎるだろうという気象庁の予報に、大きな災害が無いことを願うばかりです。お寺の周りの農家では稲刈りの真っ最中ですが、雨の多いのに困惑しながら、倒れた稲を起こしつつコンバインで刈り取りして、稲穂を乾燥機にかけています。農家の皆様は気苦労が多いですね。さて、明日の22日は衆議院総選挙の日です。安倍政権5年に有権者が審判を下す日なので、台風が静かに通り過ぎて欲しいな。

世界中が異常気象で、真夏に雪が降ったり、冬でも真夏日になったり、緑地が早魘で砂漠化している地域や、大雨で河が氾濫し洪水で家や田畑が流される地域が多発しているのは不気味です。熱帯の雨林地域を農業開発という名目で破戒するのも原因の一つで怖いですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

怖いと言えば北朝鮮がミサイルを飛ばし、秋田県沖の日本海や日本列島を飛び越えさせて北海道の東南沖の太平洋に着弾させていることです。核実験やミサイルの飛翔距離を延ばしてアメリカと対等に外交交渉をしたいという金正恩労働党委員長の政策だが、もし間違つて日本の原子力発電所に着弾すると悲惨ですよ。アメリカが北朝鮮に経済的な圧力をかけて、核実験や核の保持放棄を促していますが、世界的な強国が核を保持している限り、北朝鮮は耳を貸さないようです。ならば世界の国が核ミサイルを保持しない協定を日本が先導したいな。

10月1日午後10時ころ、米ネバダ州ラスベガスで自動小銃による乱射事件で58人の人が死亡、500人以上が怪我をする大事件が発生しました。カジノホテルの前の野外劇場でカントリミュージックの音楽祭が開かれている最中に、ホテルの32階の部屋から2万2千人以上も集まっていた人々を無差別に発砲したようです。白人のステイプン・パドック容疑者はすぐに自殺し、動機の説明が難航しています。それにしても全米ライフル協会の反対で、銃の規制が出来ない米国は今後も銃による悲惨な乱射事件が起こる、本当に悲しい国です。

親鸞聖人が「和国の教主 聖徳王」と讃えた聖徳太子は西暦574年に用明天皇の皇子として生まれ、聡明な人でした。聖徳太子の育つた飛鳥時代は権力の座をめぐる肉親が互いに血深泥になつて争い、人は誰をも信じられない時代でした。そんななかで仏教を真剣に勉強し『十七条憲法』を制定したのも、人間の善悪の決め方を根底から見直し、人のあり方とは何か、真実とは何かを問い続けたからです。

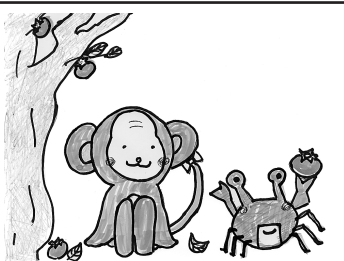
日本の国の経済発展は、真心を込めて良いものを作り、相手に信頼されることを心懸けてきましたが、最近の国内企業は儲けのためには何でもありのようになり、恥ずかしいことです。三菱自動車の燃費の誤魔化しや、日産自動車の製品検査で無資格の人が検査したり、神戸製鋼所ではアルミや銅製品の検査データを改ざんするなど、日本の大企業を支える人の心が貧しいですね。人とはなんだ。合掌（奥原 曇龍）

『便利さと豊かさ競う現代は 弱者を騙し儲けに血眼』 どんりゅう

ともしび説法

日時・十一月 三日「金曜日」 午前十時半から午後四時頃まで
秋の報恩講法要 午前・音楽演奏 午後・法要儀式・講演等
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：
奥原 綾



お釈迦様ものがたり 13

お釈迦様はマヤー(摩耶)夫人を生母として、釈迦族の王子として生まれます。だがお釈迦様出産後七日目にして母は世を去り、生母の末妹であるマハーパジャパティ(摩訶波闍波提)に大切に養育されました。

お釈迦様は虚弱体質で胃腸が弱く、武芸より沈黙考を好む性格だったようです。お城のなかの邸宅には池もたくさんあり、青蓮華や白蓮華・赤蓮華の花が植えられ、お釈迦様の心を和ませました。また父の浄飯王は王子のために、冬と夏と雨期を過ごす三つの宮殿を建て、多くの美女をはべらせ、歌舞音曲をもつて賑やかにしたとせられるのも、王子の沈みがちな心をひきたたせるためでした。

父の王は、お釈迦様が冥想を習慣とし禅定による精神統一をたびたび見かけたので、王子が世をはかなんで出家することを畏れ、早めに結婚させるようにしました。十六歳から十七歳ぐらいには結婚したようです。

国王などの上流階級では王妃も一人だけではなく、お釈迦様も、第一妃をヤソダーラー(耶輸陀羅)、第二妃マナダラー、第三妃ゴウタミーがあつたとせられています。お釈迦様の子供は一人だけですが、産んだのはヤソダーラーです。子供の名前はラーフラ(羅睺羅)と名づけられましたが、竟りの妨げになるものという意味です。自分の子供に変な名前をつける人がいますが、お釈迦様もそのうちの一人だったのですよ。

お釈迦様は子供に恵まれ、幸せな結婚生活に見えたが、人が老いていくことや、病気で苦しむこと、また人が死にゆくことを若い頃から怖れ悩んでいました。それは生母が自分を産んで直ぐに亡くなったことが影響していたのです。また釈迦族がコーサラ国に隸属し、いつ亡ぼされるかもしれないという亡国の恐怖に苦しみ悩み、やがて王子は城を捨てて出家の道を歩むのです。合掌(奥原曇龍)

親鸞忌老いも若きも集まりて 生と死見つめるともしび明かり 田辺多恵子



総代さんたちと仏具磨き

ともしび法話

秋も一段と深まり、木の葉が風に舞い散る季節です。皆様、お元気ですか。心光寺では秋の報恩講法要が十一月三日に勤まります。午前中はハンドベル演奏やフラダンス・サクソホン演奏があり、午後からは法要儀式と仏教講演です。準備に大忙しですが、皆様をお待ちしています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

「ともしび」を有り難うございます。娘さんの唯ちゃんのカット絵、素敵です。裏面に親鸞聖人や法然上人の一代記、勉強になりましたが、今回のお釈迦様の連載も勉強となり、楽しみに期待しています。長野市三輪 井口 顕彰

十一月三日、秋の報恩講法要を楽しみにしています。午前中の楽器演奏やフラダンスの踊り、午後からの法要儀式と仏教講演等、また近藤さんが組紐の実演もします。倉敷市藤戸天城 福原 浩子

秋深し親鸞聖人偲びつつ 山門くぐれば喜び身に満つ 養田れい子

ともしび説法

日時・十一月 三日「金曜日」 午前十時半から午後四時頃まで
秋の報恩講法要 午前・音楽演奏 午後・法要儀式・講演等
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

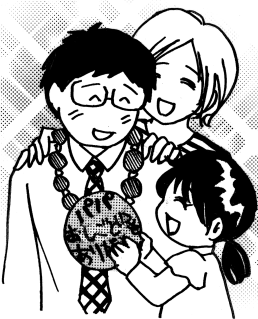
○ともしび説法・お寺の行事予定
十二月二十一日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
一月 一日(月)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
二月 六日(火)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

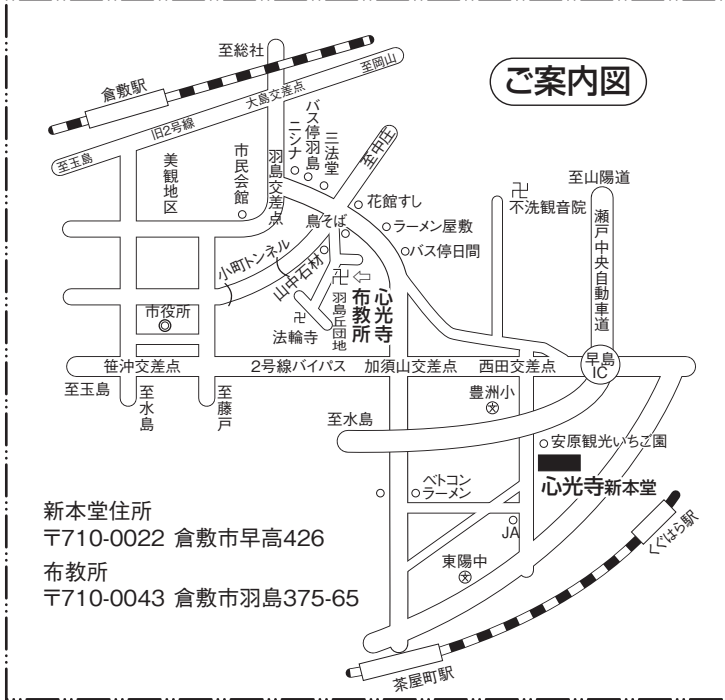


こころの詩

いつ死んでもいいように
こころの準備をしておこう
いつまで生きてもいいように
毎日を感謝して生きよう
晩秋の冷たい雨に濡れながら
木の葉がゆっくり散っていく
木の葉は散り散り成仏す



カット:吉岡美枝



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「334号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。11月3日の報恩講法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に9時40分、茶屋町駅西口に10時10分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。合掌 総代長 三村健